

■ 基礎をしっかりと。そして楽しく♪

総合学科である立川緑高校には、音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰといった選択必修科目の他に、アートデザイン系列に芸術系の選択科目がなんと13科目も設置されています。

本校の芸術科課程は基礎を大切に、演奏や制作の初歩から実習していきます。

まずは、演奏や歌唱、作品制作を一緒に楽しみましょう。

■ 感性を言葉にしてみることに

立川緑高校の芸術科では、演奏や制作などの実習において、感じたこと、思ったことを言葉や文章にすることを大切にしています。

だれかの表現に感動したときは、「かっこいい!」「キレイ!」なんて言葉が自然と口をついてでるものです。表現を受け止めるとき、共有するとき、そして自ら表現者になるときも、私たちははじめに言葉を使います。本校の授業ではそこで一步踏み込み、「なぜかっこいいのか?」「なぜキレイなのか?」を対話や作文のなかで模索し、言葉にすることで、ひとつひとつの演奏や作品制作における学びを深めています。

■ 将来の道を決める糧に

いま、ふんわりと頭の中で芸術系の進路を考えている人がいたら、ぜひ、アート・デザイン系列の選択授業を受けてみてください。納得がいく進路選択のためには、あなた自身のチャレンジ経験を判断材料にすることが一番たしかです。

本校は総合学科として、多様な生徒が「自分に向いていること」を探せる場所です。立川緑高校の芸術科では、「イラスト」「ピアノ」「陶芸」など、さまざまなスキルを磨く科目を数多く設置しています。その多くは入門編にあたる基礎科目ですが、3年次以上で「より専門性高く学びたいな」と思ったときに挑戦できる上位科目も準備しています。

本校の芸術科目で学んだ経験を、高校を卒業したあと、美大や専門学校など芸術系の進路を本気で考えるか、別の道を進むか、あなた自身が決めるための道しるべにしてください。